

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/07/06号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド4000ドル割れから大きく上昇

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



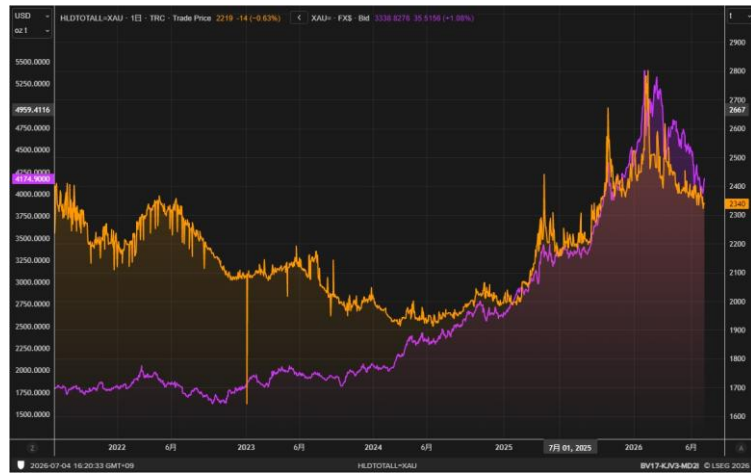
ゴールドはやはり先々週に4000ドルを割り込んだところが大底になったようです。4000ドルを割ったレベルでは買い意欲が強く、下へのトライはことごとく跳ね返されました。やはり現物の買いは強いのでしょうか。短期的投資家の売りは、FRBの金利上げ見込みがその最大の理由でしたが、それを揺るがしたのが、まずウォーシュFRB議長の発言。ECBの年次総会で「インフレリスクは低下した」という発言が報道され、ゴールドは4020ドルから4100ドルへ上昇。その一日後の雇用統計では、市場予想のNFP11.7万人増に対してほぼ半分の5.7万人増。つまりインフレと雇用の両方が、金利上げに対して否定的な数字になりました。それを背景にふたたびゴールドは大きく上昇。高値は4194ドルまでありました。金利上げを材料にゴールドを売っていた短期筋の買い戻しも入ったと思われます。それが売りの材料であっただけに当然の動きだと言えるでしょう。とはいえまだ9月の利上げ可能性は45%とほぼ五分五分であり、今後の経済指標の出方によってはふたたびゴールド売りになる可能性は十分あります。ただ下値の固さは今回確かめられているので、ほぼ下値は4000ドル割れレベルであるという意識がマーケットには広がっていると思います。特に中央銀行がゴールドに対する傾倒を深めていることが、WGCのアンケートに続いて、他の機関（OMFIF）のサーベイでも中央銀行は翌年のゴールドの取引レンジを5000~6000ドルとみているという結果でした。彼らは金利など関係なく、資産の多様化、流動性、そしてますます分断される世界の地政学リスクに対するヘッジとしてゴールドを購入しており、今後もその量は増えていくという見方を中央銀行自体がとっています。彼らは現物を買います。そして一度買うとそれを基本的には財産として倉庫に保管してしまいます。ゴールドを売っている短期筋は先物やETFを売っていますが、最終的にはそれを買い戻します。どちらが長期的なマーケットへの影響力があるかは明らかです。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

ゴールドとともにシルバーも大きく上昇。やはり50ドル台は売られ過ぎだったのでしょう。上昇の理由はゴールドと同じく、金利上げの材料が弱まったこと。上がる時も下がる時もそのボラティリティの大きさは強烈です。

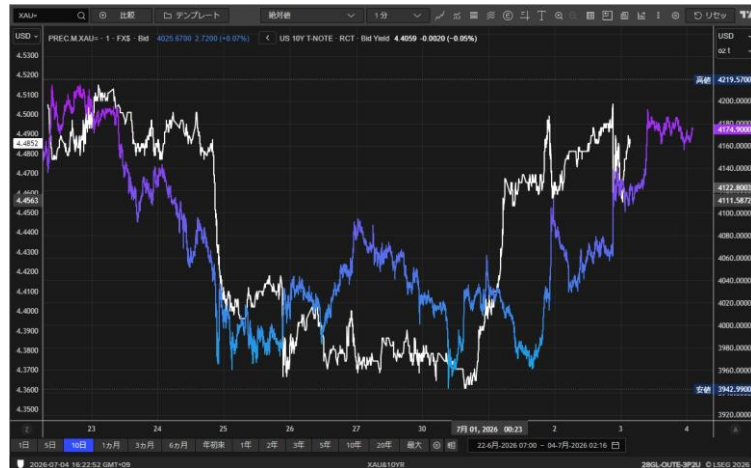


Gold ETF残高とゴールド価格



「プラチナの現状」

プラチナは先週年初来安値1530ドルをつけました。そこから100ドル戻して一週間が終わりました。やはりあれは行きすぎだったのでしょう。ゴールドに従っての動きですが、とりあえずプラチナの底値もつけたのではないのでしょうか。



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで